

古いITを刷新し、未来へつなぐ。 グローバル製造業のDX戦略と意思決定を支える知見

組織名: 矢崎総業株式会社
業種: 自動車部品製造
売上収益: 約4,000億円
(2024年度実績)
従業員数: 約25万人
(グローバル、2024年現在)



重要なビジネス課題

日本本社の古いIT環境と、海外拠点の新しいITをどのように統合し、ガバナンスを効かせるかが大きな課題です。また、85年の歴史を持つレガシーシステムをモダナイズし、AI時代に対応させること、そして経営層に価値を示すことが求められています。



Gartnerによるサポート

以下のような領域において、Gartnerのサービスを活用いただいています。

- 鮮度ある情報で迷わない選択を実現。
インクワイアリなどを通じて、必要なIT戦略を確認
- 客観的な視点で技術を比較し、複数の選択肢を検討
- レポートやアナリストの知見を活用し、経営層に響くインサイトを提供



ビジネス・インパクト

矢崎総業では、以下の取り組みで成果を挙げられています。

- ITガバナンスの整備を加速し、グローバルでの統合方針を明確化
- レガシーシステム刷新に向けた戦略を客観的データで裏付け
- 技術選定の精度を高め、経営層への説明に納得性を付与

古いITを刷新し、未来へつなぐ。 グローバル製造業のDX戦略と意思決定を支える知見

組織名: 矢崎総業株式会社
業種: 自動車部品製造
売上収益: 約4,000億円
(2024年度実績)
従業員数: 約25万人
(グローバル、2024年現在)

矢崎総業は、自動車用ワイヤーハーネスを中心に、世界40カ国以上で事業を展開するグローバル製造業です。世界の自動車3台に1台に採用されるワイヤーハーネスを製造し、200以上の工場と25万人の従業員を擁しています。

DX推進やITガバナンスの強化を通じて、レガシーシステムのモダナイゼーションとAI時代への対応を加速し、経営への貢献を目指しています。

*2026年3月現在



「Gartnerの情報は鮮度が高く、中立性があり、技術を客観的に見極めるために非常に役立っています。情報を使い切る、その力をGartnerと共に発揮したいと思っています」

矢崎総業株式会社 執行役員 AI・デジタル室 丹下 博 氏